

同窓会報 Vol. 58

発行：2014年7月1日 第58号
横浜市立南高等学校
・附属中学校同窓会
事務局：電話 045-822-1910
FAX 045-826-0818
URL <http://nanko-ob.com>

次のステップへ

同窓会 会長 石川 直弘（9期）

昨年度、同窓会に住所が登録されている全ての同窓生に会報をお送りすると共に9月に総会を開催しました。その際に今後の運営費としてのご寄付をお願いしました所、会計報告にもありますように、多くの方々から予想を上回る芳志が寄せられ、理事一同感激すると同時に皆様の南高への思いの深さをひしひしと感じました。ありがとうございます。紙面上でのお礼で誠に申し訳ございませんが、深く御礼申し上げます。寄せられたご寄付は会員のための活動や母校の発展のために有効に使わせて頂きます。今回は27年度に2年分の会報をお送りし総会を開催します。その際に、主に会報の全員発送を維持するためのご寄付を再度お願いしなければなりません。私といたしましては1口（千円）、2口のご寄付をより多くの皆様にお願ひできればと思っております。今後も継続的なご寄付をお願いしなければなりませんので、皆様からのご芳志は薄く広くをモットーにしたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。



母校南高が60周年を迎え、本年度から附属中も3学年がそろいました。60周年の記念として、同窓会はPTA、後援会と協同でアリーナと南高ホールの舞台脇に附属中の名前も入れた幕を新調して贈りました。また、生徒会から要望があったグラウンドの時計も贈ることにしました。南高も全学年が5クラスになり、いよいよ中高一貫校の体制がスタートしています。来年度は高校募集が1クラスになるため、生徒が集まるのか、レベルはどうなるのか、高校入学生の教育をどうするのか等々課題は山積していますが、鈴木校長、高橋校長を先頭に護るべき伝統を踏まえつつ新しい南高をどう創っていくか、教職員皆さんが奮闘しています。私たちも南高応援団として出来る限りの協力をし、見守っていきたいと思っております。

さて、日記を兼ねた私の手帳にこんな一文がありました。

「出張などで地方に行く時、私は集合時間の3、4時間前に最寄り駅に到着するようにしている。駅に着いて「駅からマップ」をもらい駅の近くを散策するのが好きだ。駅からマップというのはイラスト入りの案内地図で、町の様子はよく分かるのだが距離や方角がかなりいい加減で、目的地に着くためには店先にいる女将さんや庭いじりのおじいさんに聞かなければ目的の場所に行き着けないことが多い。地図としては不完全だが、それがかえって土地の人との会話をもたらしてくれて、旅に出たことを実感させてくれる。」

振り返って同窓会は新しい組織作りが必要になっています。10年、20年先にも安定した同窓会運営を確保するための組織、各期の同窓の意見を反映できる組織を構築するためにはどうしたらいいかを考えなければならない時期になっています。理事を中心にアイデアを出し合って原案をまとめ、次の総会で提案できるようにしなければならぬと考えています。今の同窓会の現状はまさに「駅からマップ」を手にした時の状況と似ています。目標ははっきりしていますが、そこに至るまでの道のりがよくわかっていません。安定していてしかも活力のある組織とその運営方法とはどんなものか。これまでの卒業生とこれからの卒業生のつながりを持った組織にするにはどうしたらいいか等々。多くの方々にご意見をお聴きしながら、様々な条件をシュミレートして進んでいかなければなりません。どうぞよろしくお願ひいたします。

伝統から創造へ

南高等学校 校長 鈴木 英夫

南高校は中高一貫化の途上にあり、今年と来年が、いわば潮目が変わる難しい時期ですが、前向きに力強く変革しない限り、伝統ある南高校を守る事は出来ないと考えています。

この変革期には、教育理念の中核をなす「自主自立」を新しい時代の中で実現するビジョンが必要です。南高校の伝統を力にして、社会的自立の二つの要素である社会性と知性をどう育てていくかが課題だと感じています。南高生は協調性が高く、社会的自立への高いポテンシャルを持っていますが、このポテンシャルを今後の日本社会で生かしていくには、知性の向上が欠かせません。

中高一貫という学校教育の新しい取り組みの中で、高校教育の質をどう向上させるかという点に、南高校が積み上げてきた力の真価が問われています。南高校の中高一貫化にあたって、創造していかなければならないのはまさにこのこと、つまり知性の教育なのです。

在籍する高校生の輝かしい未来のために学校として何が出来るか。現在の南高校の生徒を大切に育てるとともに、27年度からの新しい南高校のための準備を進めるという「複眼的」な要素を持った行動が求められています。現在そこに在籍する生徒にとっても、将来南高で生活する生徒にとっても南高校に入学してよかったと思える学校である必要があります。

変革や創造の中にこそ伝統が息づいてくると信じて、南高校を前進させていきます。同窓会の皆様には、一層のご理解とご支援をお願いします。



完成年度にあたって

南高等学校附属中学校 校長 高橋 正尚

平成24年4月1日に横浜市教育委員会から「開校宣言」が出され附属中学校が開校しました。開校宣言には「横浜市立南高等学校との一貫教育により、高い学力と豊かな人間性をはぐくみ、高い志と幅広い視野をもって世界で活躍できる人間を育成する中学校として発展することを期待する」とあります。

私は校長としてこの開校宣言や「横浜市中高一貫教育校基本計画」（平成22年5月横浜市教育委員会本校のホームページ参照）を本校の建学精神と捉え学校づくりを進めています。今年度、3学年が揃い学校としての形は整いましたが6年間の教育課程の編成、中高連携の組織のあり方、附属中からの南高校への進学、高校での1クラス募集等の課題が山積しています。

また、今年度は中高一貫教育校としての取組が保護者や受検生から評価される年でもあります。同窓会の皆様をはじめ後援会、PTAの皆様方と一致協力をしてこの難局を乗り越えていきたいと考えています。今年度もご協力の程よろしくお願い致します。



初めまして

南高等学校 校長代理 碓 郁夫

初めまして、四月に校長代理として着任しました、碓 郁夫と申します。よろしくお願ひいたします。

南高校は、市立高校普通科四校目の勤務校となります。私が、最初に勤務した市立高校は、桜丘高校でした。十四年間に在職した桜丘高校時代には、テニス部の顧問を担当していました。南高校は、テニスの試合会場になることが多く、試合などで大変お世話になりました。その当時から、このすばらしい環境の南高校で勤務したいと思っていました。南高校の発展のために、微力ではありますが、少しでも貢献できればと考えております。

さて、南高校は、中高一貫校として三年目をむかえています。着任して一ヶ月あまりですが、中学生と高校生が同じ校舎の中で、のびのびと一生懸命に勉強や課外活動に励んでいます。高校生は、先輩として規範を示し、中学生は、間近に高校生の先輩を見ることで、お互い、すばらしい成長をとげているのではないかと感じている日々です。

今年度、六十一年目をむかえる南高校は六十周年行事が行われます。節目の年になります。今後とも、南高校の発展に、卒業生の皆様のいろいろな面からのご支援をお願いいたします。



南高等学校副校長挨拶

南高等学校 副校長 小間物 晃弘

東高、桜丘高を経て、戸塚高定時制からこの四月に異動してまいりました。市立高校は本校で四校目です。どうぞよろしくお願ひいたします。南高校は、今年は創立六十年を迎えるとともに、附属中学生も全学年が揃い、中高一貫校としてようやくスタートラインに立つ節目の年になります。このような学校の大事な時期に赴任し、四月から大変緊張して勤務しております。

陸上競技部の顧問をしていた頃、立派なグラウンドを持っている本校に何度もお邪魔させていただきました。また私の従兄が南高の卒業生でもあり、南高との縁を感じています。

これから新しい中高一貫校として歴史を刻んでいく中で多くの人々から支えられてきた南高の伝統を尊重し、新たなステージで生徒たちが輝けるように頑張りたいと考えております。同窓会の皆様方におかれましてもご支援の程よろしくお願ひいたします。



退職挨拶

南高等学校 前校長代理 吉田 信幸

初教員生活37年間の最後の2年間を大過なく南高等学校で生活が出来感謝しております。同窓会の皆さまには学校ファンドの立上げ、創立記念実行委員会、南高祭と様々な場面にご支援を頂き有難うございます。今後とも南高のご支援を宜しくお願ひ致します。

さて、本年4月1日より横浜市今宿地区センターに着任しました。地区センターは相鉄線二俣川の自動車運転試験場の先を歩いて10分程の閑静な住宅街の中にあります。旧厚木街道に面しており希望が丘駅からも歩いて20分程です。天気の良い日は丹沢の山並み、富士山が綺麗な姿を見せてくれます。

教員生活とかけ離れた新しい生活への戸惑いと無力感で満ち、皆さんに支えられながら生活をしていきます。わからない事、知らない事がたくさんあり、まるで還暦を過ぎた出来の悪い生徒で手取り足取り教わりながら毎日を過ごしております。

今宿地区センターは年間10万人を超えるご利用者がいます。高齢者の皆さまが大半を占めており、卓球やバドミントン、絵画サークル、カラオケ、囲碁と様々な活動をされています。また、放課後の小学生、中学生の憩いの場にもなっております。数は少ないですが高校生が勉強している姿も見受けられます。

同窓会の益々のご発展と皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。



平成 25 年度 バレーボール部 OB 会 9 月 21 日(土)

26 期 安藤 一

バレー部 OB 会は 20 年程前に消滅しましたが、4 年前から復活し、今回は 3 回目の OB 会となりました。

前回までは男子部単独での開催でしたが、今回から女子部と合同で、上は 10 期の先輩方、下は 58 期の後輩達まで、総勢 90 人の会となりました。

私達幹事は、卒業アルバムや口コミで連絡先を調べ、四苦八苦の末、部員に連絡を取り、バタバタと幹事業務をこなしていました。バタバタと…。

当日は 18 時に開宴し、11 期千葉先輩の乾杯で、いよいよ OB 会がスタート。久し振りに会う先輩後輩の話で盛り上がり、幹事の私がホッと一息ついた時、22 期杉山先輩から、「主賓の常木先生が遅れているみたいだけど、念の為自宅に連絡してみろよ」、と何気なく言われました。

その瞬間、嫌な予感が頭をよぎり、本能的に 28 期子安に押しつけ、喫煙所へと身を隠していた所へ、「常木先生が電話を代われと言っております」とスマホを手渡され、汗ばむ手で電話に出ると、「安藤よ～、日程は聞いてるけど、場所も時間も連絡来てないよ。俺はどうすればいいんだ？」

と物静かに問いただされ、その場で土下座をし「今から来て下さい」と…。

その後、常木先生は横須賀から 1 時間で中華街に到着し、無事に会を終わる事ができました。

当然、大御所の先輩達から呼ばれ、正座でお話を聞く事になりましたが、上から下まで楽しめた、最高の OB 会となりました。

今回は各年代の顧問の先生 8 人に参加して頂き、本当に感謝しております。



美術部 OB 会 南期会展・浅見信夫先生の作品紹介 同窓会 副会長 菊地 晶江 (14 期)

今年も第 15 回南期会展が吉野町市民プラザで開催されました。

初日のオープンと共に会員の皆さんの作品を拝見、当時の美術担当の浅見信夫先生にもお会いする事が出来ました。

新しくなった戸塚区総合庁舎 4 階、戸塚区民文化センター「さくらプラザ」に先生の作品が展示されているとお聞きし

あじさいの頃

平成 8 年 (1996) 日本美術院展出品 紙本彩色 145cm x 200cm

取付(写主)場所: 戸塚区平戸 5 丁目 山谷交差点・トンネル間口付近

浅見 信夫 画



ました。早速現地へ、まず絵の大きさにびっくりしましたが、緑が中心の心が穏やかになる美しい絵画でした。皆さんも是非足を運んで、作品の前でひと時を楽しんではいかがでしょうか。

ホップ ステップ ジャンプ

23 期 山崎 真千子 (旧姓：曾我)

今年は 23 期陸上部 O B の山崎 (旧姓、曾我) 真千子さんをご紹介します。

山崎さんは高校では 1 年生でインターハイに出場し、大学でも陸上部に所属して日本陸上選手権で上位の成績を収めるといったトップアスリートです。

現在は、母として妻として家庭を切り盛りする傍らふたつの仕事を掛け持ちしながらもトレーニングを続け、35 歳以上の 5 歳毎のクラスで競うマスターズ陸上で輝かしい記録を連発するスーパーウーマンです。今年の 1 月から神奈川マスターズ陸上競技連盟の理事としても活躍しています。



私は、中学、高校、短大と陸上競技部に所属し、短大の時には女子に 400 m ハードルが初めて導入され、日本選手権で 5 位に入賞することができました。その後は、仕事、結婚、出産、3 人の娘の子育てで走ることからはずっと遠ざかっていました。

その私が、また陸上競技を始めたきっかけとなったのは、今から 12 年前。娘がやっていた少年野球の運動会で保護者も参加するリレーに出場し、校庭 1 周を走った時に、「あっ、まだ走れそうだ！」と感じたからです。

それから、区の陸上競技大会などに参加するようになり、今から 7 年前には韓国テグで行われた世界陸上誘致のための大会イベントに参加しました。一般市民による 10 名× 400m のリレーメンバーに 20 期の佐々木友彰 (先生) 先輩から推薦していただきました。そして、そのリレーメンバーからマスターズ陸上の存在を教えていただいたのです。

初めは 47 歳で 400 m ハードルに出場し、50 歳からは棒高跳びを教えていただく機会を得て、昨年、念願の 3 m 00 を跳びました。また、七種競技 (80 m ハードル、走高跳、砲丸投、200 m、走幅跳、やり投、800 m) にも挑戦し、200m 29 秒 14、走幅跳 4 m 74 とマスターズを始めてからの自己記録を出すことができ、どちらも W50 (50 ~ 54 歳) のクラスでアジア記録を更新することができました。

人生一度しかないなので、楽しいことを精一杯やっていきたいと思っています。20 期の姉 (曾我由紀子) と 22 期の主人 (山崎浩一郎) も応援してくれています。

今年は、去年からできた跳躍五種競技で記録を出すため、初めての三段跳に挑戦中です！

同 期 会

南高 15 期同窓会 (還暦祝) 開催

15 期 中村 宏幸

私達 15 期生は、2013 年 10 月 19 日 (土) に、「南高 15 期同窓会 (還暦祝)」と銘打って、横浜駅東口、スカイビル 27 階の「横浜クルーズクルーズ」で、恩師の先生を含めまして、総勢 130 名を超えて開催致しました。

前回の南高の食堂での平成5年以来、20年振りの全体開催であり、且つ還暦祝ということもありまして、参加者が予想を超える喜ばしい事態となりました。

開会宣言、三森先生のご挨拶、乾杯、同窓会長祝辞と進み、クラス別の記念撮影を行いました。更に、DVDをスクリーンに流し、懐かしい南高の姿・様子、修学旅行、体育祭等を上映しました。胸の名札を見ないと分からないくらい変わってしまった級友がいたり、この日の為に、遠く、福岡、北海道、兵庫、大阪、新潟、愛知等、各地から参加した級友もいました。

最後に、参加者全員で南高祭舞台の部の「友よ」と「校歌」を斉唱しました。その後、各クラス毎に二次会、三次会へと流れて行きました。

今回は、南高60周年に併せて、クルーズ船による開催を予定しているところです。

今回の15期同窓会開催にあたりまして、大変ご協力頂きました石川様、菊地様、本当に有難うございました。また、残会費〇〇万円は、南高同窓会に寄付させていただきます。



17期 41年ぶり、初めての同期会開催！

17期 田島 敬子

1973年に卒業し、2014年5月24日 大安吉日の良き日に、41年ぶりの同期会開催しました。パセラリゾーツ関内店にて、158名の参加、38%の出席率でした。当日は、恩師の蕪木先生、石原先生、松下先生、同窓会の石川直弘会長にご出席頂き、ありがとうございました。同期会開催の発起人、幹事の小林保さんの挨拶、石川会長挨拶、蕪木先生による乾杯の音頭で、皆、高校時代にタイムスリップ！！懐かしい、楽しい、うれしい、語っても語りきれない同級生です。80代の石原



先生の若い容姿と活躍に感動し、蕪木先生の変わらぬ声に、思わず授業を受けているような気持ちになり、同級生かな？と思う位の、松下先生の美肌と若さに、先生方の素晴らしさを再確認し、感激しました。

クラス紹介で、更に盛り上がり、和服姿のママ風の方、思わず手を合わせてしまう住職風の方、9人のお孫さんに囲まれている方、泌尿器科ドクターや、昔と変わらない風貌の方、昔の面影いずこの方などなど…楽しいトークと写真撮影にあっという間の2時間半でした。2次会も更にいろいろあって盛り上がり、3次会に葛野先生もご出席頂き、ありがとうございました。

還暦を迎える年に、同期会開催できたこと、皆が再会で、更にエネルギーを分かち合い、パワーアップできたこと！17期の輪が広がったこと！そして南高に通って良かった！と思う感謝いっぱいの同期会でした。

締めくくりは真鍋生徒会長から「次は5年後！元気に再会しましょう」

ありがとうございました。（※写真は8組クラス写真）

ふと、皆に会いたいと思い、同窓会委員と連絡を取り、49期の同窓会を提案しました。すると、皆の反応にドキドキしていた気持ちとうらはら、お酒を片手に委員の皆は積極的に、且つさっと役割分担をし、すっかり大人になった頼もしい仲間がそこにいました。さすが南高生、つめるとこはつめ、はずすこははずし、と、ぼんぼん計画が進んでいきました。

2013年7月13日当日、楽しみにしていた同窓会前に、お腹がいたくなるほど緊張しました。着々と準備を始める委員達、続々と集まる49期の皆。綺麗になった女子達、スーツが似合う男子達、ここでも改めてみんな大人になったなあと感動しました。当時担任でいらした合田和子先生、杉山伸次先生、佐々木友彰先生、植松聡先生、星野浩先生、同窓会副会長菊地晶江様に出席していただき、100人を超える参加者が揃い、いよいよ同窓会が始まります。受付をしながらどきどきが止まりませんでした。

みんなの楽しそうな声、懐かしい友達に会った安心感、当時を思い出すどきどき感、いっぱいつまった会場内はいろんな気持ちと熱気で溢れました。その中は大人の姿をしたあの時と変わらない南高生がいて、まるでタイムスリップしたような気分になりました。

みんなといると本当に心が安らいで、すごく幸せな時間を過ごせます。私は南高生が大好きです。卒業してまだ10年も経っておりませんが、今回参加してくれた人はもちろん、出席できなかった人、連絡がとれなかった人ともずっと関係が続いていけるように、何らかの形で繋がっていかれたらと思います。



同窓会主催の活動

58 期卒業直後の同期会

待ちに待った5月18日、58期同期会が南高校食堂で開かれました。本当にたくさんの仲間が集まってきてとても盛り上がりました。先生方、貴重なお時間を割いて同窓会にいらして下さってありがとうございます。久しぶりに南高の先生方とお会いして高校のクラス単位の授業が懐かしくなりました。

この前会ったときには制服だったけれど、今日は私服だったのでみんなが大人っぽくみえました。立食タイムでは、ずっと話が尽きることなく食堂が笑い声で溢れていました。久しぶりに会う仲間との会話は他愛無いことでしたが、南高生の仲間が周りにいるだけで楽しく幸せな時間でした。ビンゴ大会はディズニーチケット

やスタバカードなど豪華景品がそろって大変盛り上がりました。最後には、みんなで記念撮影を行い先生のお話をいただき同窓会はお開きとなりました。その後もクスノキ広場でずっと仲間としゃべったりと、本当に南高生の南高愛が伝わる同窓会だったなと思います。改めて南高生でよかったなと思いました。

次の同期会は『二十歳の同期会』です。少し成長した仲間に出会えるのを楽しみにしています。



55期「二十歳の同期会」

55期 高井 由利子

11月16日、南高55期生「二十歳の同期会」が行われました。55期生の参加人数は30人未満と少なかったのですが、多くの先輩方にお越しいただき、懐かしく楽しい時間を過ごすことができました。また、55期の担任だった上原先生、宮田先生、湯地先生がご出席くださいました。お忙しい中55期生のために足を運んでくださり、卒業後も変わらない先生方の優しさに心が温くなりました。在学中よりも卒業した今の方が先生方を身近に感じることができ、不思議な気持ちでした。

今回の同期会では、本当に多くの方とお話することができました。同期会で初めて話した同級生。高校時代支え続けてくださった先生方。普段の生活ではお会いする機会がないOB・OGの先輩方。たった2時間でしたが、とても濃い時間を過ごすことができました。会の最後に頂いた先輩からの応援エールが印象的でした。参加した55期全員でも出せないような力強い声で応援してくださいました。

改めて振り返ってみると、時代は流れても、南高生らしさ、南高生の良さというものが、先輩方から脈々と受け継がれているのだと感じました。南高の特色は、親しみやすい温かさをもつ生徒ではないかと思います。これからは南高生であったことに誇りを持ち、素敵な仲間とともに、前向きに歩んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、同期会を計画・運営して下さった理事の皆様、当日ご参加くださり会を盛り上げてくださった先輩方に、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



南高通学路そうじ隊

同窓会 理事 小林 保 (17期)

「はい撮りませーす」カシャ！

恒例のニュートンのリンゴの木を囲んで活動前に通りすがりの人をお願いをしての記念撮影をします。

「エイッエイッウオー」出発！

海拔 60 数メートルの南高を出て、海拔 20 メートルの上大岡駅前の商店街までおよそ 40 メートルほどのダウンヒルでダスト拾い？

南高坂を左右路肩に分かれて長めのトングでゴミを拾います、大きなゴミは少ないものの吸い殻が無数に捨てられています、排水口に詰まったモノもほじります。

「へえ歩道があるんだ」桜が減ったな！
現役時代の下校時を思い出しながら、この坂の時間の変化を感じます。

‘戸惑いの梢’も‘覚りの切り株’も、今は無いものの当時の思い出もほじります。

「鶏肉屋はまだあるな」最急勾配かな！

‘別所分かれ道’を越え、緩やかになった辺りで上りのバスの道と下りのバスの道とに隊員は 2 班に分かれます。そこそこにゴミも貯まりつつ、最終地点を目指してそうじ活動を続けます。

「お疲れ様でーす」にぎやかです！

商店街の喧騒と人混みの中、揃いの同窓会のジャンパーを着た隊員が活動を終えて集合。

コロッケや焼き鳥やドーナツの臭いに刺激されながら打ち上げに向かいます。

3 年通った母校の通学路、環境よくあって欲しいとゴミはいっぱい拾ったけれど思い出もいっぱい残しておいたので、今度拾いにいきませんか？

「平成 25 年度活動実施日」は 1 回目：平成 25 年 12 月 7 日、2 回目平成 26 年 3 月 15 日でした！

毎年 2 回清掃活動を行っています。日程等は同窓会 HP まで！

南高祭展示の部出店 二年目を経験しての今後の考察あれこれ。 同窓会 副会長 山形 和弥 (18 期)

今回も平成 25 年 9 月 7 日土曜日から 8 日の日曜日にかけて南高祭展示の部に昨年と同じ教室 (5 階) にて出店いたしました。

昨年同様「想いで箱」という企画で、お菓子と喫茶のサービスと歴代卒業生のアルバム閲覧、南高誕生から現在までの手書き年表掲示、部活動紹介、南高マップ (南高卒業生のお店の紹介、上大岡中心) など昨年同様の出店をしました。

その二日間、理事一同の素晴らしい働きぶり、連日の天候不順での校舎内気温上昇の為 (出店開場が最上階なので現役生の出店多くなく、その分熱気が少ない分体感温度が低く、涼しく感じられたのが幸いし、) 涼を求めたい方々の呼び込みに大きく貢献。さらに附属中学校受験を目指したと思われる御家族連れの方々が大挙押し寄せていただき今回も大盛況、途中用意した喫茶類が足りなくなり、大慌てで追加補充など目まぐるしく展開した充実の二日間でした。

今後の展示の部への継続出店を考えますと、同様のサービスの展開を基本とし、南高卒業生の情報交換の場の提供、ホームページの充実等を図り現役生と卒業生の交流の場の提供及び催事など様々の試みが考えられます。

また、運営要員が足りないので、来場者に気持ち良く楽しんでもらうための担当理事及びお助け隊 (理事の友人等) による運営ベースでの体制作りの確立が次年度への目標かと思えます。

私、行事担当としての試案ですが、毎年継続出店参加を考えて南高年表、卒業アルバム、青垣等資料を、徐々



にデジタル化して保存するということを提案していきたいと考えます。

それは、デジタル化することで、今後卒業アルバム等の現物が直接の閲覧を避けられるので傷まずに済むことや、更なるデジタル機器の発展に伴い、同窓会保有資料のデジタル化やそのデータの時系列での整理を図ることにより、新たに同窓会員へ保存資料閲覧サービスなどの展開が出来れば、今後の同窓会としての収益のあるサービスに結びついていくと考えられます。

すでに、手書きの南高年表はデジタルデータとして保存することで、今後、各同期会の開催時に同窓会より資料として配布することも検討しようと考えます。それは配布することで、より各期の同期会が、盛り上がる会になれば、同窓会の資料提供サービスが機能したことになるかと思えます。そのあたりのことを考えつつ、平成26年も出店予定でありますので、ぜひとも今年も同窓会「想いで箱」にお立ち寄り下さい。皆様のご来場を理事一同お待ちしております。

このように私たちの心配をよそに、母校はこれまでの南高のDNAを受け継ぎながらも確実に未来へ向けて進化し続けているようです。



総会開催される

横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会平成25・26年度総会が平成25年9月1日（日）に南高大会議室に於いて来賓8名と会員52名の出席で行われました。

2年に1度開催することが決まって初めての総会は、石川会長が議長となり来賓の方々のご挨拶のあと議事に入り、出席者からたく

さんの真摯なご意見、ご質問を頂きながら、同

窓会規約、事業・活動報告、会計報告、理事役員、事業・活動計画、予算といった議案についての承認が得られました。議事の詳しい内容は同窓会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

次回は平成27年9月に開催予定です。



会計報告

平成25年度収支計算書
(平成25年6月1日から平成26年5月31日まで)
横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会
(単位:円)

目 録
平成26年5月31日現在
横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会
(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 収入の部			
1 会費収入	3,000,000	2,877,000	123,000
2 寄附金収入	2,000,000	2,831,500	-831,500
3 広告収入	0	0	0
4 その他収入	300	43,449	-347,105
当期収入合計(A)	5,000,300	6,055,905	-1,055,605
前期繰越収支差額	10,296,804	10,320,230	-23,426
収入合計(B)	15,297,104	16,376,135	-1,079,031
II 支出の部			
1 事業費	2,865,000	2,026,324	838,676
2 総会費	1,600,000	1,335,717	264,283
3 管理費	436,000	357,212	78,788
4 積立準備金	600,000	600,000	0
5 固定資産取得支出	1,000,000	1,000,000	0
6 予備費	100,000	0	100,000
当期支出合計(C)	6,601,000	5,319,253	1,281,747
当期収支差額(A)-(C)	-1,600,700	736,652	-2,337,352
次期繰越収支差額(B)-(C)	8,696,104	11,056,882	-2,360,778

(注記) この収支計算書は、「公益法人会計基準(平成16年改正)」によって、作成している。「I 収入の部」の「4 その他収入」は、奨学金の返納収入である。

正味財産増減計算書
(平成25年6月1日から平成26年5月31日まで)
横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会
(単位:円)

科 目	金 額
I 増加の部	
1 資産増加額	
当期収支差額	736,652
基本財産取得額	1,000,000
母校周年行事引当定期預金	100,000
総会準備金取得額	500,000
小 計	2,336,652
2 負債減少額	0
増加額合計	2,336,652
II 減少の部	
1 資産減少額	0
2 負債増加額	0
減少額合計	0
当期正味財産増加額	2,336,652
前期繰越正味財産額	10,320,230
期末正味財産合計額	12,656,882

貸借対当表
平成26年5月31日現在
横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会
(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	11,056,882
流動資産合計	11,056,882
2 固定資産	
(1) 基本財産	
定期預金	1,000,000
基本財産合計	1,000,000
(2) その他の固定資産	
母校周年行事引当預金	100,000
総会準備金引当預金	500,000
その他の固定資産合計	600,000
固定資産合計	1,600,000
資産合計	12,656,882
II 負債の部	
1 流動負債	
源泉税預り金	0
流動負債合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
正味財産	12,656,882
(うち基本金)	(1,000,000)
(うち当期正味財産増加額)	(2,336,652)
負債及び正味財産合計	12,656,882

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
手許現金	49,655
普通貯金	
ゆうちょ銀行028支店 口座No.14756511	2,230,667
定期貯金	
ゆうちょ銀行記号50230 口座No.1382761	2,300,000
定期預金	
みずほ銀行上大岡支店 口座No.6846357	1,000,000
普通貯金振込口座140623	5,476,560
流動資産合計	11,056,882
2 固定資産	
(1) 基本財産	
基本財産引当定期預金	1,000,000
ゆうちょ銀行記号50230 口座No.1382761	
基本財産合計	1,000,000
(2) その他の固定資産	
母校周年行事引当定期預金	100,000
総会準備金引当定期預金	500,000
みずほ銀行上大岡支店 口座No.6846357	
その他の固定資産合計	600,000
固定資産合計	1,600,000
資産合計	12,656,882
II 負債の部	
1 流動負債	
預り金	0
流動負債合計	0
負債合計	0
正味財産	12,656,882

計算書類に対する注記事項

- 重要な会計方針
 - 資金の範囲については、現金預金、未収金、未払金、仮払金、前払金、前渡金、前受金、立替金、預り金及び未収利息を含めることとしている。なお、当期末残高は、3に記載のとおりである。
 - 会費収入の内訳は、次のとおりである。

期 別	内 訳	金 額	摘 要
5 5 期	20歳の同期会会費	175,000	
5 4 期	同窓会入会金	10,000	
5 5 期	同窓会入会金	27,000	
5 7 期	同窓会入会金	27,000	
5 8 期	同窓会入会金	2,638,000	
合 計		2,877,000	

- 次期繰越収支差額の内訳は、次のとおりである。

科 目	期首残高	当期末残高
現金預金	10,320,230	11,056,882
前払金	0	0
小 計	10,320,230	11,056,882
預り金	0	0
短期借入金	0	0
小 計	0	0
合 計	10,320,230	11,056,882

- その他の固定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

項 目	期首残高	増加額	減少額	期末残高
母校周年行事引当預金	0	100,000	0	100,000
総会引当預金	0	500,000	0	500,000
合 計	0	600,000	0	600,000

平成25年度収支計算書
平成25年6月1日～平成26年5月31日

【収入の部】		【支出の部】	
①会費収入	¥2,877,000	①事業費	¥2,026,324
②寄附金収入	¥2,831,500	②会費前準備金	¥989,978
③広告収入	¥0	③基本財産引当定期預金	¥1,000,000
④その他収入	¥43,449	④母校周年行事引当定期預金	¥100,000
		⑤総会準備金引当定期預金	¥500,000
		⑥母校関係費	¥497,261
		⑦奨学金返納金(教科書7名)	¥686,542
		⑧CD購入金	¥5,000
		⑨会報発行費(第56-57号)	¥4,889
		⑩OB関係費	¥389,277
		⑪南 期 会	¥97,212
		⑫地域貢献費(2回分)	¥600,000
		⑬総 会 費	¥1,335,717
		⑭管理・雑費	¥357,212
		⑮事務費・通信費・交通費	¥600,000
		⑯積立・準備金	¥1,000,000
		⑰母校周年行事関係	¥100,000
		⑱総会関係	¥500,000
		⑲基本財産引当預金(特別途上入金)	¥1,000,000
		⑳基本財産引当金	¥1,000,000
収入計(A)	¥6,055,905	支出計(B)	¥5,319,253
当年度収支差額(A)-(B)			¥736,652

平成25年度 同窓会表彰

〔団体〕

陸上競技部 3年 安西彩香・澄田結子・足立桜 2年 早瀬莉子 関東高等学校陸上競技選手権大会 4×400m リレー出場

〔個人〕

中島万理那（陸上部 3年）関東高等学校陸上競技選手権大会 800m 出場

堀田小雪（陸上部 2年）関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会 走幅跳出場

岩下友輝（陸上部 2年）関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会 走幅跳出場

金井まるみ（陸上部 1年）関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会 100m ハードル 5位

岩尾優奈（ソフトテニス部 3年）関東高等学校ソフトテニス大会 出場

南川香織（ソフトテニス部 3年）関東高等学校ソフトテニス大会 出場



平成25年度教職員異動

離任者教職員（高校）

職種・教科	氏名	異動先	職種・教科	氏名	異動先
校長代理	吉田 信幸	選抜今宿地区センター館長 東希小コミュニティハウス館長	保健体育	立貞 英司	金沢高校
副校長	増田 亨	戸塚高校定時（校長代理）	音楽	真船 妙子	横浜総合高校
数学	日向 広壘	東高校	家庭	金子 久美子	金沢高校
理科	武井 敏夫	みなと総合高校	家庭	中村 知子	横浜総合高校
理科	古屋 好祥	桜丘高校（副校長）	情報	坂戸 英明	横浜総合高校
英語	網野 千春	金沢高校	国語（臨）	犬飼 絢子	本宿中学校
英語	大山 若菜	東高校	司書（臨）	町田 明子	みなと総合高校
地歴公民	菊池 直哉	横浜総合高校	AET	サイモン ラック	
地歴公民	倉橋 伸	戸塚高校	技能職員	遠藤 信幸	梅林小学校

着任者教職員（高校）

職種・教科	氏名	前勤務先	職種・教科	氏名	前勤務先
校長代理	碓 育夫	横浜総合高校	音楽	岩田 正満	横浜総合高校
副校長	小間物 晃弘	戸塚高校定時	家庭	菊池 智美	横浜総合高校
数学	宮崎 良夫	横浜商業高校	情報	太田 壮司	横浜総合高校
理科	荒木 英之	金沢高校	理科（臨）	天野 智香	南高校非常勤講師
英語	西尾 彩	新任	英語（臨）	安井 サチ子	南高校非常勤講師
国語	米田 真木子	新任	司書（臨）	筒井 愛子	桜丘高校
保健体育	栗ヶ窪 喜一	金沢高校	AET	ブライアン エリス	厚木高校・横浜国際高校
保健体育	山崎 了祐	新井中学校桜坂分校	技能職員	市村 孝二	横浜商業高校

着任者教職員（中学）

職種・教科	氏名	前勤務先	職種・教科	氏名	前勤務先
国語	朝比奈 康江	六ッ川中学校	理科	大澤 信夫	野庭中学校
数学	鈴木 理佳	横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校	数学	小林 雅也	新任
社会	山形 拓也	万騎が原中学校	英語	山本 丁友	新任

同窓会 役員・理事・監事 紹介

役職	期	氏名	役職	期	氏名	役職	期	氏名
会長	9	石川 直弘	理事	13	尾崎 由朗	理事	43	田村 勇人
会長代理	13	桐生 秀昭	理事	17	小林 保	理事	45	只木 聡
副会長	14	菊地 晶江	理事	20	内藤 一彦	理事	54	荒川 飛鳥
副会長	18	山形 和弥	理事	23	比留川 秀一			
副会長	18	高田 桂子	理事	26	粕谷 正伸	監事	10	北見 昭八
理事	13	岩本 しのぶ	理事	26	山田 裕之	監事	30	荒川 尚美

南高同窓会 Web Pageのご案内 <http://nanko-ob.com>